

2022 年 2 月 4 日

「沖縄県における ATL 患者／HTLV-1 キャリア生体試料バンクの構築」

へご協力いただいた皆さまへ

【ヒトゲノム・遺伝子解析研究への協力のお願い】

東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 病態医療科学分野では、皆様にご協力いただきました「沖縄県における ATL 患者／HTLV-1 キャリア生体試料バンクの構築」（研究責任者 琉球大学医学部保健学科血液免疫検査学分野 福島卓也教授）から、血液や病変組織の検体と臨床情報の提供を受けて、ゲノム情報や遺伝子の発現レベルを解析する研究を行っています。

もし、保管検体・データの使用についてご同意をいただけない場合には、お手数ですが下記く問い合わせ・連絡先へまでご連絡ください。あなたの検体・データの使用を中止いたします。同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

以下の内容をご確認ください。

- 検体と臨床情報の利用は、東京大学の倫理審査委員会で審査、承認を受けて行われます。
- 東京大学では、ATL の発症機序の解明や新たな治療法の開発を目的とし、皆様の臨床検体を対象として全ゲノム解析を含む遺伝子解析や発現解析を行います。また臨床情報との関係を調べることで、発症や悪性を予測する方法を検討します。
- 使用する検体は、皆様からご提供いただいた末梢血と病変部位の凍結検体です。また臨床情報として年齢、性別、検査結果を使用します。
- 保管検体・臨床情報を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはありません。ご協力いただいた方への謝礼等はありません。
- 使用する検体・データは、個人が特定されないよう匿名化された状態で東京大学に渡されます。個人情報に関して厳重に管理します。
- 研究の成果やデータは、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合や、データベース（公的、大学、企業、有償、無償、海外を含む）へ登録され研究に利用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 研究の結果、知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は研究を実施する研究機関に帰属し、あなたには帰属しません。
- 検体や臨床情報は、下記の研究者が使用します。

山岸 誠 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 特任講師

内丸 薫 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授
鈴木 穰 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授

<問い合わせ・連絡先>

研究責任者

山岸 誠 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 特任講師 電話 03-5449-5295